

人の子である。0.001%大成功のみが表で語られるが、**99.999%の試行錯誤は語られない**。後者が最後(気候危機)の審判になるとは？!!、納税支援人＝素人多数が知るべき彼等実像結論は公然明白な「**過ちて、是を改め正す**」、何と是が動作してない、もう面子云々でなく、徹底追求糾弾しないと地獄に向かう、救済が無い事になる。

[1] : 科学的発見経路は試行錯誤(戦死者)の連続、屍を超えた最終者だけが、

①科学解明発見には問題発見がまず先行、**問題発見こそが最も重大だ!!**、

と言う事は従来見識に疑問を持たねば始まらない革新性、保守派には無理なのだ。

受験体制強化下では問題を与えられた学習重視だが、現場は問題発見に価値が始まる。

②問題回答への直線経路があるならば誰も苦労が無い、成功結果だけが語れるが、その裏には90~99.999%?の失敗試行錯誤がまず先行してあり、ようやく成功結果に至る。

という事は、科学者仕事の大部分は試行錯誤一途な忍耐作業である事だ、成功への強い信念自信、周囲支援(基礎科学者大部分は公費研究)が無ければ到底やりぬける物でない。ここで指摘したいのは科学は成功(真)と誤謬(偽)が常時一対にある極現実である!!!。だから科学での失敗誤謬は当然の事で恥でもなんでも無い、問題は訂正しない事!!!!!!!。

[2] : 大規模根幹的な科学誤謬の歴史事実。

①科学の根源基礎である数学(論理学)編 :

(1)偉大な集合論創始者 G. カントールの悲劇、前人未踏の“無限”その物の重階層構造に言究、狂気の内にて晩年戦死、理由!!、非有限確定対象に関して完全(真偽確定)命題は不可能!!。無限濃度理論は崩壊してるのだが、主流派数学者は未だに気づかない?!

(2)真理は証明可能＝**完全性定理**の K. ゲーデルの悲劇。

彼は非ユダヤ人なのに米国亡命、しかも最後は食事拒絶の自殺。栄光の彼が何故??。

神学が背景の欧米世界、当然、**神の問題**では彼は相当悩んだのだが、...

**不完全性定理**の素朴な証明＝**自然数論**を含む体系では真偽非確定命題が存在する。それは自然数集合  $\{0, 1, 2, \dots, \dots\}$  に於ける**最大値  $M = \text{無限大}$ 、誰も最大値を確定できない!!**。同様に自然数逆数集合最小値  $Z = 1/M$ 、 $\{1, 1/2, 1/3, 1/4, \dots, \dots\}$ 、実数0は自然数0に合致確定で、かつ  $1/M$  の意味身では非決定。是こそが実数0の**矛盾性**(肯定否定同時成立)。

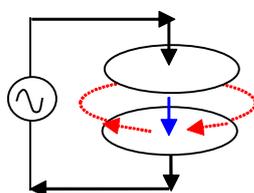
②物理学編 :

(1)決定論方程式からの確率関係式(不可逆性の統計力学 H 定理への非難)。

L. ボルツマンと熱力学第二法則(熱は高温箇所から低温箇所へ流入、その逆が無い)。

だが古典論力学決定論方程式は時間可逆なので説明不可能、悩んだ彼は自殺。確率論である量子力学前の彼には悲劇。だが何とそこでも従来論の不可逆性理論は間違い。

- (2)一電子が2(多数)本の隙間を同時通過する量子論奇談、あのファイマン-朝永も悩んだ。  
量子粒子には古典力学論的連続軌道が無い。非因果(確率)不連続瞬時移動するから。
- (3)量子粒子には大きさが無い(実数0の矛盾性)標準理論だけが実験整合、不満な科学者が  
長さ(大きさ)を持った超弦理論なるものが過去徹底追求されたが誰も成功例が無い。
- (4)時空間は曲がっていない(一般相対論の矛盾), A. アインシュタインは古典重力場基礎  
方程式の右边と左边が数学的性質が異なる事を承知してた。正解は重力=加速度の等価  
原理(エレベタ思考実験)。加速度座標系での物理法則普遍を一般化表現する一般局所  
ゲージ原理(R. 内山, 1956)で量子重力論の本質は標準理論として完成。
- (5)古典マクスウェル電磁場方程式では交流電流の磁界0 コンデンサ動作が説明できない。  
 $\text{curl } \mathbf{H} = \mathbf{j} + \partial \mathbf{D} / \partial t$ .



非導体コンデンサ誘電体中は電流  $\mathbf{j}$  は流れず, 横波電波同様の  
変位電流  $\partial \mathbf{D} / \partial t$  が流れる式ではやはり周囲に磁界  $\mathbf{H}$  発生。だが  
実際は0. その詳細は縦波電界の量子電磁力学に抛らないと駄目。  
電子産業で頻用される電磁場シミュレータソフトは古典方程式?.

### ③気候科学編：地獄到来是非と直面する危急気候変動科学の広報教育の怪?!:

科学者に誤解があるとの意味でないが、一般人向き情報には不足誤解が大流布?!.

- (1)地球熱過剰入力 ( $1.6\text{W}/\text{m}^2$ ) = 太陽熱入射量 ( $240+1.6\text{W}/\text{m}^2$ ) - 宇宙冷却放射量 ( $240+1.6\text{W}/\text{m}^2$ ).  
この右辺微小差額=借金左辺の値こそが地球を熱化して気候暴走を誘引してる。一分  
で解説できる事に関し, 過去30年以上も有害議論が継続中と言う最後の審判恐怖劇!!!

\*霞ヶ関行政官僚に聞いてもこの事情を知らない模様、彼らが市民生命を握るのです。

- (2)問題過剰熱の99%は海洋に通年吸収され、その海面温度(熱)が蒸気付き大気を支配。  
台風は赤道温帯海面から熱エネを貰う、逆に寒冷大気は北極海面(氷層)から由来する。  
因みに気象予報士の定番受験教科書と言われる内容には大気記述で海洋章が無い!  
確かに我々が直に接するのは大気温湿度、風、雲-降雨降雪等全て大気絡みであるので、

\*海洋主役に関しては筆者自身は知人数学者から教育された。

- (3)IPCC(政府間気候変動会合)科学者報告では北極氷層融解(2013年夏季消滅米研究者予言)  
とそれが誘引するメタン地球破滅大問題への言及が無い。2000年日本国会で一般議論  
としてのメタン危険性を指摘、IPCCモデル組み込みを主張する議論が地球科学博士号  
議員により成された。だがこの議員氏とはどうしても情報交換不可能だった。

- (4)COP16カンクン会合の今 IPCC 等の世界世論で信じがたい事は(産業革命後の)

全球2度温度上昇容認論、問題は前記北極問題で、余剰熱は高温熱帯から北(南)極に  
集積する結果、そこは2,3倍で温度が高くなる。4~6度C上昇北極では破滅回避は難し  
いだろう。

#### ④経済学編：

欲得が絡む経済学で注目すべきは純会計定理である0サム定理。是が何と既成教科書に書かれていない。金融財政問題の第一公式である。経済学は科学でないと酷評もある。

**通貨資産総額＝借金総額。**

その証明は誰かの借金は、必ず誰かの資産相当だから。

#### ⑤スウェデン皇室のノベル賞などの科学者面子への不純動機な政治細工を唾棄せよ！！

近年日本ではやたらとノ受賞者が多い、その理由真相を諸氏はご存知ですか？。

### [3]：過ちて、是を改め正す!!!

結論は公然明白な「**過ちて、是を改め正す!!!**」、何と是が動作してない、もう科学者為政者面子云々どころでなく、市民団結からの徹底追求糾弾がないと生活無防備で地獄に向かう、無用混乱が回避できず救済が無い事になる。ここで救済不可能だから、一層、炭素放出体制で自滅を急ぐべしの隠れた狂気支配勢力(2010年の世界的気候危機に正面きって気候変動問題を論評できない既成新聞TVのあの無様腐敗模様を見れば)もある模様だが、騙されてはならない。

(1)率直に言ってある程度現実を見ないと了解できない一般人が主流派。2010年夏季の異常猛暑を見るまで、一般人が気候変動危機認識をもてない事に筆者も痛く悲観にならざろうなかった。2007年夏季に北極氷層面積が最小値を記録して科学者会に衝撃、この前後に科学者からの警告が増える。科学者ですらこの有様。一つは気候科学が理論よりも観測主流派で、理論説得ができない模様なのだ(実は欲得の金融破綻経済学も同様)。

#### (2)危機の裏側は好機と書いてある(孫子の兵法)：

2010年危機が、多数の認識転換に効果すれば、是が救済開始のきっかけになるのだが、是に冷や水をまいてる愚か者勢力がある。**③(1)の過剰熱が正值な限り、気候変動被災は増大する。従って今いくら一時的現象と騙してもすぐにばれる。この事を科学者と為政者と一般市民には強く念を押して置きます。救済は緊急大規模炭素削減だけです。**確かに現状体制には超不都合だらけ、だが是が間違いを直す決断事だと言う事です。

(3)筆者は以上の警告を国内に限らず、海外にも流した。wikileaksでは海外勢が既成体制に挑戦を開始しており、所詮、かような不都合超大事が何時までも秘密にできる訳がない。一つ系が状態不安定化で別状態に遷移する途中過程では一般に大揺動が不可避です。

(4)くどくなるが、過ちに気づいて、修正訂正がなければ救済がないと言う事です。

**過ちを強引に押し通すのは悪魔勢力の一つの自滅特徴です!!**。ならば罪もない多数生命までも巻き込むのは如何なものだろうか。